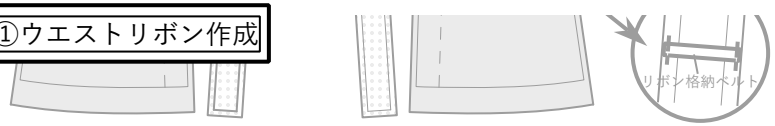
型紙屋 Navy Plus ネイビープラス

トールネックオーバードレス
正誤表2

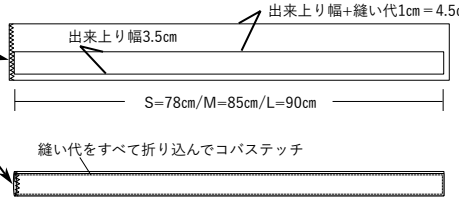
テキスト2ページ ①ウエストリボン作成



①ウエストリボン作成

ウエストリボンは共布で作成するか、もしくは既製のリボンを利用しても良いと思います。

ロック始末



※リボンは一旦中縫いしてから表に返しても良いのですが、負荷で生地が歪みやすいので、細くて長い形状だと表に返してから形を整えるのに苦労します。特段の理由がない場合は左図のようにコバステッチのみで仕上げても大丈夫です。
表にステッチを出したくない場合は中縫いして表に返してからアイロンで整えてください。

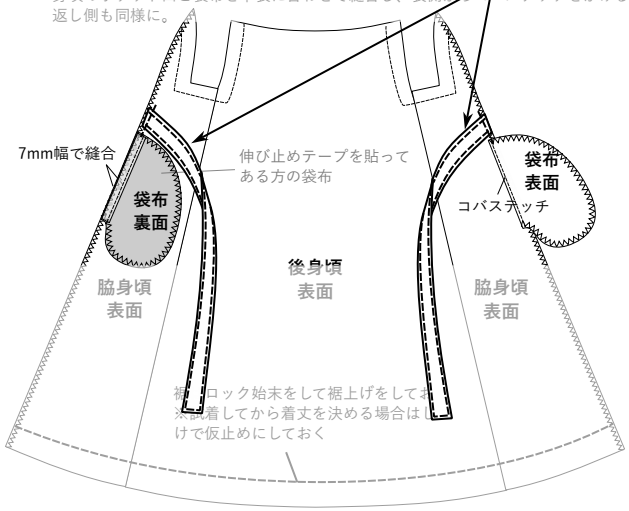
テキスト3ページ ④シームポケット作成～切り替え縫合

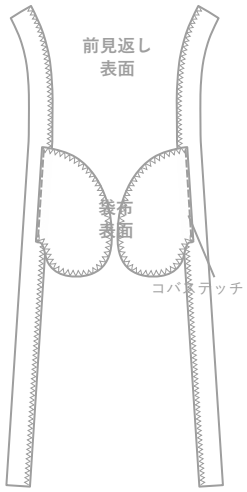
④シームポケット作成～切り替え縫合

①袋布を縫合する

身頃のポケット口と袋布を中表に合わせて縫合し、表側からコバステッチをかける。前見返し側も同様に。

袋布を縫合するときに、ウエストリボンも仮止めしておきます。



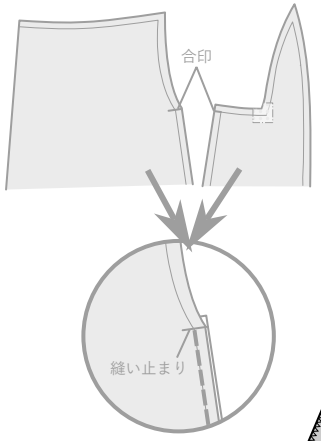


テキスト3ページ ③後脇縫合/袖ぐり始末/裾始末

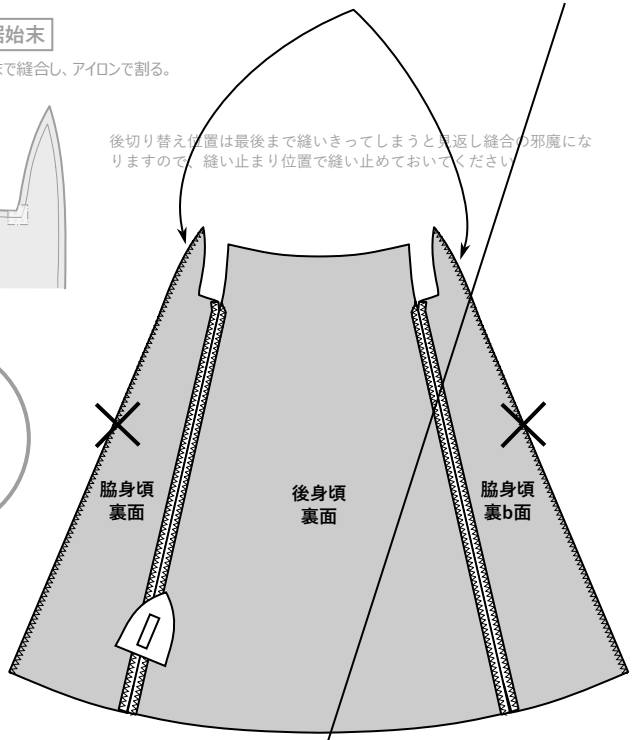
ロックはここではなく、次工程の
袖ぐり見返し始末が終わってから始末します。

③後脇縫合/袖ぐり始末/裾始末

①後身頃・脇身頃を縫い止まり位置まで縫合し、アイロンで割る。



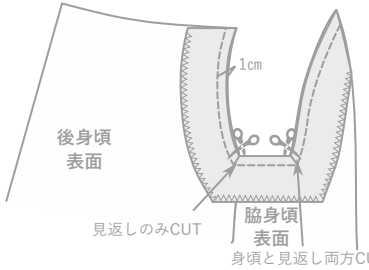
後切り替え位置は最後まで縫いきってしまうと見返し縫合の邪魔になりますので、縫い止まり位置で縫い止めておいてください。



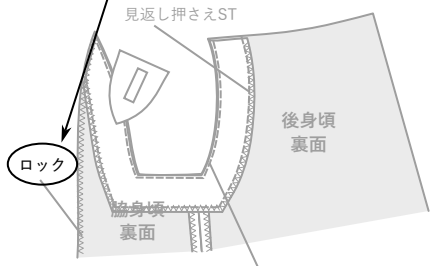
③ではなく②です。

②身頃と袖ぐり見返しを縫合し、表に返してステッチで押さえてから脇身頃切り替え線をロック始末

後身頃寄りの角の身頃は縫合時に縫い残してあるので見返しだけに切り込みを入れます。
前身頃寄りの角は身頃と見返しの両方に切り込みを入れます。



【注】切り込みを入れるときはミシンから繊維1～2本手前で止めてください。切り込みが浅いときれいにひっくり返せませんし、深すぎると出来上った後にほつれてきて強度が落ちます。



ウラコバステッチを入れておくと強度が増します（ウラコバではなく表側からコバステッチを入れてもOK）